

ボランティアとは

全相協50周年記念誌編集班

季刊「行政相談」は、今回で159号の発行となりますが、創刊は、昭和54年（1979年）5月です。その「あとがき」には、「全相協法人化（※昭和53年）後の懸案事項のひとつとして、親睦、お知らせ版の機関誌「行政相談」から脱皮を図り、行政相談をはじめ各種相談活動の総本山的存在になり得るには、学識経験者等の協力も得て、定期総合雑誌を刊行すること」を理由に創刊するものとされています。

創刊2年目の昭和56年2月No.8には、「当庁の行政相談業務は、範囲は行政全般にわたり、相談内容も複雑で、高度の判断を要するものだけに、長年にわたって、しかもこの仕事を生き甲斐として活動している姿は敬服に値するものがあります。このようなボランティア活動に対して、国はもちろんのこと、国民各層から賞讃されてしかるべきものと思います。」の記述があります。「――ことば―行政相談委員制度20年の意義」（中 庄二 行政監察局長）

行政相談委員は、報酬を受けることはなく「ボランティア」で活動をしているとの説明をしますが、「ボランティア（Voluntary）」「ボランタリー」という語句は、有志とか志願者と訳されるものであるが、今日では、「進んで善意を提供すること（又は者）」として使われているものである。」との調査研究がありますので一部を紹介します。

この調査研究は、全相協が（財）日本船舶振興会の昭和55年度補助事業として実施した「ボランティアによる行政相談委員活動に関する調査研究」によるものです。（季刊「行政相談」昭和56年5月No.9掲載）

1 ボランティア活動が求められる背景

「ボランタリー」（Voluntary）、「ボランティア」（Volunteer）という語句は、有志とか志願者と訳されるものであるが、今日

では、「進んで善意を提供すること（又は者）」として使われているものである。

ボランティアが国民から注目され、社会の関心事として浮かびあがってきたのは1970年代であり、国・地方公共団体の提唱するコミュニケーションとともに、ボランティア活動の必要性、重要性が議論の対象となってきた。

この背景としては、1960年代の急激な都市化によって生じた国民生活のさまざまな歪みに対し、コミュニケーションによって地域住民の生活を支援することが提唱され、そのための市民参加が要請されるようになってきたことがあげられる。

従前の地域社会は、街の世話役（隠居さん、町内会長等）を中心とした地域社会ががっちり構成され、住民生活に関する諸事万端をその地縁社会内で収めていた。それが都市化によって地縁社会が崩壊し、都市部では中心的存在であった相談相手を失い、農山村部では、地域社会の働き手を失っ

た。このため行政が、地域社会の中心となり、行政依存型の社会となっており、市町村の相談所は、買い物相談とか結婚相談までも行わざるを得なくなっている。

しかし、1970年代後半からの低成長、安定成長政策は、市町村財政を圧迫し、行政主導型の地縁社会づくり、即ちコミュニティづくりが急務となっているが、住民自らも、市民参加による地域社会づくりをする気運が高まりつつあることも事実である。

住民自ら参加するということは、生活における充実感を満たし、参加者に喜びを与えるという面から有意義なことと思われる。ボランティア活動が求められる背景を整理すると、次のとおりであろう。

(1) 社会構造の急激な変化の中で、社会福祉の問題が特定の人だけの問題でなく、国民の多くの課題となり、社会福祉に対する必要性が増大したこと。しかも社会福祉に対する必要性は経済的な対応だけでなく、生活のうるおい、人とのふれあいを求めるようになった。

(2) 1960年代における労働生産性の高まりの中で、週休2日制や長期有給休暇が定着しつつあり、勤労者の社会参加の条件が整ってきたこと。さらに、家庭電器用品の普及による家事の合理化、産児数の減による育児からの解放等により女性の生活様式も大幅に変わり、生きがい

を求める一つの手段としてボランティア活動が位置づけられるようになってきたこと。

(3) 1980年代は、「地方の時代」といわれているように、生活の場として、また人間性回復の場として「地域」という居住空間が見直されてきたこと。さらに、地域での住民活動の内容もかつてのような告発的なものではなく、連帯とふれあいを求める運動が注目を集めてきたこと。

(4) 情報が氾濫している社会にあつて、青少年をとりまくさまざまな問題、とりわけ、生きがい、生き方が大きな問題となってきたこと。

(5) 低成長時代である今日、国、地方公共団体の財政は逼迫し、福祉関係の要請に對し、すべて行政が対応することは困難となってきた。このような状況の中で、行政依存型でない住民参加の福祉が必要となってきたこと。

2 ボランティアの歴史と現況

わが国のボランティア活動の歴史は、ボランティアと直接意識していない活動を含めると明治時代における宗教団体による救民活動等までさかのぼることになるが、今日のボランティア活動の位置づけ、性格づ

けを明らかにするために、近時の活動について、その動向を分析してみた。

(1) 昭和49年、社会教育審議会から出された「在学青少年に対する社会教育のあり方について」の建議以降、学校教育に民間有識者の協力を得ることが定着し、児童の健全育成に貢献している。

(2) 「カとハエ撲滅運動」に代表される保健や栄養に関する住民意識の向上に取り組む活動がある。この活動が底辺にあつて大気汚染等の公害対策、さらに高齢者対策の活動が活発化し、地域保健活動に寄与している。

(3) 地域開発に伴う生活環境の変化に対応した住民運動が急速に増加し、全国各地の原子力発電所又はコンビナート反対運動等政治的、経済的にも問題の大きい活動が多い。

(4) 昭和37年に徳島県及び大分県において善意銀行が設立されたことを契機として、組織的な施設訪問や在宅訪問活動等が行われるようになった。この種の活動は、古くから行われていたもので、ボランティア活動の原型といふべきものである。

(5) 最近特に注目されてきた活動にコミュニティ活動がある。これは前述したとおり、急速に発展してきた分野である。

以上の5つの流れ以外に、平和や人権にかかわる国内、国際的活動もある（これには、核兵器問題、難民問題等の活動がある）。本調査研究の対象となるボランティアによる相談活動は全く緒についたばかりであるが、「いのちの電話」に象徴されるように活動実績も世間の注目を浴びてきている。

現在のボランティア活動を活動パターンによって分類すると多種多様であり、まず活動の場で分類すると、家庭で行われる場合（例えば占訳、録音等）もあれば、地域社会を舞台に在宅サービスや子ども会活動を展開したり、施設への訪問や労力奉仕もある。また、学校、職場単位で実践されているが、相談活動は、特定階層（思春期、受験期、生活困窮等）を対象として実施しているものが多い。

こうした状況から、現在のボランティアの特徴は、ボランティアの住んでいる地域を中心に繰り広げられている点があり、今後の活動方向性としては、日常生活に密着した相談活動が、ボランティア活動の軸となり得る可能性を有しているといえよう。

3 ボランティア活動の性格

ボランティア活動は、ある問題を看過できないと考えた住民の止むに止まれぬ気持ち

ちからはじめられた活動であることが理想的な型であろうが、相談活動の場合、はじめから意図的、集団的に行われているケースが多い。

しかし、ボランティアは、住民の潜在的なエネルギーを触発し、自主と連帯の社会、地域づくりについて関心を高め、そのエネルギーを具体的な活動に転化する動きであるが、その活動を有効に引き出し、ある目的に誘導していく力は、現在のところ行政施策であることも止むを得ないことである。

この意味から、行政相談委員、人権擁護委員、民生（児童）委員等は組織的に、また継続的に実施しているものであり、たしかに行政機関からの委嘱を受けて行う活動であるが、活動内容は、ボランティア活動にほかならない。

以上の観点からボランティア活動の性格と役割をまとめると次のようになる。

① ボランティア活動とは、社会・地域づくりに主体的にかかわり、他者との中で自己をより豊かにする行動である。

② ボランティア活動では、社会・地域づくりにおける創造的・先駆的活動が重視される。

③ ボランティア活動とは、個々の具体的な問題を解決するだけに止まらず、その活動は波及的・開放的なものである。

④ ボランティア活動の契機は恣意的であつても、その活動が日常生活の中に計画的・継続的に位置づいていくものでなければならぬ。

⑤ ボランティア活動は、原則として金銭的対価を求めたものではない。

⑥ ボランティア活動とは、行政とも協調する住民の主体的活動である。

⑦ ボランティア活動は、行政に対し積極的に問題を提起し、これを行政に反映させる活動である。

⑧ ボランティア活動は、社会・地域づくりに向けて、住民の生活における問題を調査し、関心を喚起し、住民が参加する契機を提供する活動である。

⑨ ボランティア活動は、制度的サービスでは行き届かない面を、より細かにサービスを提供する活動である。

⑩ ボランティア活動は、個々の具体的な情報及びサービスが行政と住民との間でスムーズに行われるよう媒体の役割を持つものである。

以上、約40年前にまとめられた調査研究の結果の概要ですが、当時の社会経済状況や置かれた環境の相違はあるものの、現在の諸情勢を踏まえた「ボランティアによる行政相談活動・行政相談委員」を考察する一助になれば幸いです。